

皆さまのハッピーリタイアメントを応援する

# Road to happy retirement

お金を賢く使い、生涯にわたり豊かに生活するための“お金”、“ライフプラン”に関する情報をお届けします。お金が貯まる習慣、知識を身につけ、より豊かな人生を送りましょう！ハッピーリタイアメントの実現を応援します！



## 今月のトピックス

① つみたてNISA

② 岩本の独り言



いつもお世話になり、誠に有難うございます。

新年度スタート！

気分も新たに新年度をお迎えのことと思いますが、よいスタートはきれそうでしょうか？

連休も目の前に迫っていますので、アクセル全開で行きましょう！

さて、昨年後半から、ひたすら上がり続けた株式市場も調整の時期を迎えると、今度は良くない（悪い）話がドンドンクローズアップされるようになりました。

トランプ政権の種々の問題に大統領の保護主義的行動、森友問題…。

経済情勢ではなく、政治問題に振り回され、株式市場も大きく値を下げています。

この手の問題は、分からないだけに投資家も手控えせざるをえないので、やはり難しい状況にあるのかな…といったところでしょうか？

アベノミクスで買った株 ⇒ 安倍政権でなけれ



いつもたくさんのご紹介ありがとうございます。  
皆さんとのご縁はとて有り難く思います。日々の生活やお金に関する事で不安を感じている方がおられたら是非ご紹介ください。未来の自分、そして、家族のために賢いお金の使い方、ふやし方、守り方をアドバイスします。

ば、売り材料 ⇒ 森友問題でなにか不安 ⇒ 株は買えない

しばらくはこんな感じでしょうか？

といっても、ハッピーリタイアメントを目指す我々の投資には一切関係ありません。

ゴールはずっとずっと先。別に明日、明後日、1年後に上がっていなくても気にする必要は一切ありません。

慌てず、騒がず、コツコツと、ハッピーリタイアメントに向けた投資を実行してまいりましょう！

**岩本 貴久**

追伸、  
皆さんとのご縁、ご紹介いただいたことに対するご縁はとて有り難く、大切にしたいと思っています。

私どもが最も役に立てること、それは、保険やライフプランについての正しい情報提供を行うこと。

それらを通じ、皆様、そして皆様の大切なお知り合いのお役に立てればと思います。

## 東海FPセンター

<http://www.tokaifp.com>

### ◆貯金に関するご相談は…

#### 60歳または、65歳から掛け金の1.5倍の年金を受け取る方法

「1.5倍の年金の相談」と声をかけてください。  
(年金に限らず、中長期の貯金全般です。)

E-mail : [t-iwamoto@tokaifp.com](mailto:t-iwamoto@tokaifp.com)

URL : <http://www.tokaifp.com/jinenkin/>

岩本携帯 : 090-4082-7007

## つみたてNISA

つみたてNISAとは、積立投資のための非課税制度です。

年間40万円までの投資に対して、その運用益(分配金・譲渡益等)が最長20年間にわたって非課税となり、投資額は最大で800万円(年間40万円×20年)となります。

投資可能期間は2018年から2037年の20年間ですが、2037年投資分の非課税は20年後まで続くため、最長で39年間にわたる運用(2018年～2056年)となります。

つみたてNISAの投資対象商品は、国が定めた一定基準を満たす投資信託に限られています。

また、つみたてNISAと一般NISAは選択となり、同一年での併用はできません。

つみたてNISAは、分散・積立によってリスク低減を図りながら、長期にコツコツ資産形成するのに向いていると言えるでしょう。

### 一般NISAとの比較

2014年から導入されている一般NISAでは、年間120万円(2015年までは100万円)までの投資に対して、その運用益が最長5年間非課税となります。

投資できる期間は2014年から2023年まで、投資額は最大600万円。

少額・長期投資のつみたてNISAと比べると、まとまった資金をタイミングを狙って運用する際に適していると言えます。

また、一般NISAでは、株式や投資信託(ただし公社債投信は除く)全般が投資対象となっており、つみたてNISAに比べて多くの銘柄から選択することができます。

### ライフプランに応じた活用法

つみたてNISAの非課税投資枠は年間40万円なので、単純に12ヵ月で割れば、毎月約3.3万円の積立となります。

もっとも、毎月3万円強の積立は難しいという場合には、たとえば、毎月積立額は2万円、ボーナス月はそれにプラス8万円とするなど(2万円×10ヵ月+10万円×2ヵ月=40万円)、必ずしも毎月の積立額を同額とする必要はなく、「定期的かつ継続的」であれば、非課税投資枠の範囲内で自由に設定できます。

つみたてNISAは長期間にわたる投資となるので、「息切れ」しないよう、その積立プランについてはしっかり考えたいところです。

もちろん、非課税投資枠をすべて使い切る必要はなく、「毎月1万円だけ」といった設定も可能です。

長期にわたる安定した資産形成をサポートするつみたてNISAですが、非課税期間が20年間あること、積立といえども株式投資信託で運用することを考えれば、価格変動のリスクとは無縁ではなく、数年で使用する資金や絶対に減らせない資金の運用先には向きません。

10～20年以上先に使う予定の老後資金や教育資金、住宅取得やリフォーム資金など、できるだけ将来の資金づくりに充てるのが基本となるでしょう。

そういった意味では、まずはライフプランをしっかりと把握することが重要となります。

## 運用商品の選び方

つみたてNISAの大きな特徴として、「投資対象となる商品は、国が定めた一定基準を満たした投資信託に限られる」ことが挙げられます。

この一定基準とは、つみたてNISAの目的（長期間にわたる、家計の安定した資産形成を支援）を達成すべく、「長期の積立・分散投資に適していること」であり、その具体的な条件は以下のとおりです。

### つみたてNISAの投資対象となる投資信託（公募株式投資信託の場合）の条件

- ✓ 販売手数料ゼロ
- ✓ 信託報酬は一定水準
- ✓ 顧客一人に対して、その顧客が過去1年間に負担した信託報酬の概算額を通知すること
- ✓ 信託契約期間が無期限または20年以上であること
- ✓ 分配頻度が毎月でないこと
- ✓ ヘッジ目的に場合等を除き、デリバティブ取引による運用を行っていないこと

2017年12月13日現在、つみたてNISAの投資対象となる投資信託は132本です。

### つみたてNISAの投資対象となる投資信託（2017年12月13日現在）

- ✓ 指定インデックス投資信託：114本
- ✓ 指定インデックス投資信託以外の投資信託（アクティブ運用投資信託等）：15本
- ✓ 上場株式投資信託（ETF）：3本

※金融庁HPを元に作成

投資対象に選ばれたファンドは、数千種類あると言われる投資信託の中から、長期の積立・分散投資に適した商品として「厳選された」ファンドと言っても良いでしょう。

この絞り込みによって、商品選びの負担は大いに軽減されることになります。

ただし、債券のみに投資対象を絞った投資信託は対象外となっていますので（すなわち、投資対象には必ず株式が含まれている）、いずれを選んだとしても、価格変動のリスクを伴うことを意識しておかなければいけません。

さて、投資対象となる132本のうち、インデックス型（ETF含む）が117本に対し、アクティブ型はわずか15本となっています。

これは一般的に、インデックス型の方が比較的风险が低く（値動きが穏やかで）、コストも安いことから、長期投資に向いていると考えられるためでしょう。

また、インデックス型は、特定指数（ベンチマーク）に運用成績が連動するため、その値動きが分かりやすい点も、「投資促進」といった視点から選ばれやすいと考えられます。

特に投資初心者であれば、日経平均株価やTOPIXといった身近な指数をベンチマークとしたファンドがイメージしやすいかもしれません。

投資に慣れてくれば、海外資産の指数も検討材料となりますね。

ただし、インデックス型とはいえ、投資先によってはリスクが高めとなりますので注意が必要です。

また、比較的风险を抑えた投資を考えているのであれば、国内外の株式・債券・リート等各資産クラスに分散投資する「バランス型」を選ぶという選択肢もあります。

アクティブ型のファンド数は非常に少ないですが、長期間にわたってTOPIXを上回る安定した運用成果を挙げている投信も対象になっています。

